

おうらさき  
(18) 大浦崎自然海浜保全地区 (平成2年3月31日指定)

○所在：呉市音戸町波多見六丁目 ○陸域面積：0.04ヘクタール

この海浜は、大浦崎半島の砂浜、岩礁及び海食崖からなる延長約720メートルの自然海岸です。

水際線は、なだらかに傾斜した砂浜と不規則に突出した岩礁や海食崖で、海水もよく澄み、自然の状態がよく保たれています。

大浦崎半島の北面の海浜は、緩やかな弧を描き、干潮時には幅16メートル以上、延長約200メートルの砂浜に続いて、延長約130メートルの中粒花崗岩で形成された岩礁地帯が現れ、ヒメテングサ、アオサ等の海草が見られます。

また、半島東端の小露岩丘陵は、干潮時には陸続きになります。

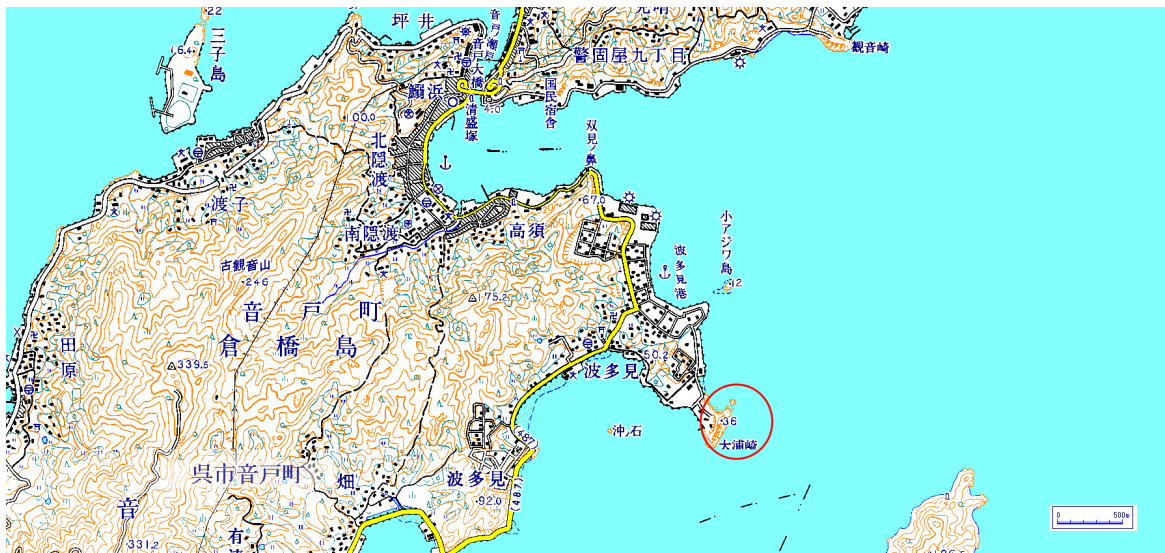
半島東面は、延長約390メートルの岩礁地帯で、大部分は険しい海食崖に接しています。

この地区の植生は、アカマツ、クロマツ、コナラ、アベマキ、ヤマモモ等が見られます。特に、砂浜の背後の縁取りとなっている延長100メートルあまりのトベラ群落は見事です。

また、隣接する大浦崎公園と一体となって、海水浴、キャンプ、釣り場及び散策の場として、多くの人々に親しまれています。



干潮時に陸続きとなる半島東端の小露岩丘陵



(18)大浦崎自然海浜保全地区

